

晴耕雨読 51

発行：株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・地質調査 解析・測量全般・
・補償コンサルタント登録
〒869-1234 【※本社が北区弓削に移転しました】
熊本県菊池郡大津町引水 215-1 (技術研究所)
本社：熊本市 / 八代支店 / 合志営業所
TEL：096-293-4400/FAX：096-293-4885
E-mail：kenpro@muc.biglobe.ne.jp

「五色霜林」
(ごしきそうりん) とは美しい紅葉の風景のことです。

建プロ創業 30 周年「これからも学而創新の実践に努めます !!」

私たちのおすすめスポット

Recommended Spot

早起きは 1 億円の徳かな？



古儀敷内流茶道を学ぶ !!

保育園の時に初めて、お茶の世界を知った女の子。今年で中学 1 年生となり、着物に着替えてのお稽古がスタートしました。敷内流を学んでいます。敷内流のお手前は武家手前です。

各地のラッピング電車に心おどる・・・



平成 28 年の熊本地震で大きく被災した南阿蘇鉄道。沢山の漫画家さんたちの寄せ書きラッピング電車はやはり嬉しいですね。不通区間線路の遮断機の棒は取り外されたままで、淋しい姿ですが、一日も早い復旧を願います。上左の写真の電車は、氷見線の忍者ハットリ君電車。ラッピング電車は、鉄道に乗る楽しみが増し、鉄道を身近に感じる効果があるように思います。T/B



九州製造
発祥の地
(天草)



上記写真は、天草の通詞島対岸の沖ノ原遺跡から九州で初めて天草式製塩土器が発見され、現在、天草市立五和歴史民族資料館に展示。今から 1500 年前に、この塩を陸路・海路で遠くの山間地へ「塩の道」を使って運んでいた貴重な写真です。



名前の由来には広い台地(原)の端(切り)にあたるという説と、昔、武士が仇(かたき)とねらう若い武士から逃げまわったが、所詮、逃げられぬ運命と悟って、この坂の途中で切腹して果てたなどの諸説があります。

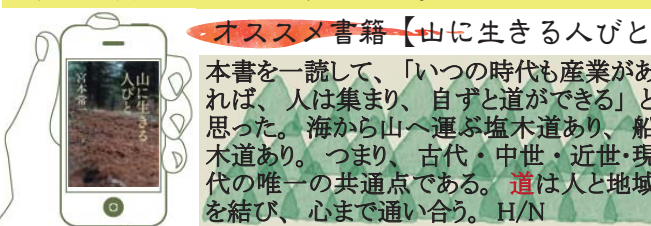
Vol. 51 DEC 2018 seikouudoku

いよいよ平成最後の師走となりました。皆様におかれましては如何おすごしでしょうか？

古道日向往還
(熊延路)を訪ねて



平成 30 年 11 月 7 日は晴天。日向往還に惹かれ、矢部、清和、馬見原、五ヶ瀬、高千穂、日之影、延岡までの 100Km を早速で訪ねた。時期は紅葉の真っ盛り。清和から五ヶ瀬にかけて国道 218 号沿線からの眺めは抜群。さらに印象的だったのが谷深い日之影の小棚田集落と人々の安全を祈る地藏様が秋の風景を彩っていた。H/N



・オススメ書籍【山に生きる人びと】

本書を一読して、「いつの時代も産業があれば、人は集まり、自ずと道ができる」と思った。海から山へ運ぶ塩木道あり、船木道あり。つまり、古代・中世・近世・現代の唯一の共通点である。道は人と地域を結び、心まで通い合う。H/N

冊子が出来上がりました !!

創業 30 年の節目の年に思い切っ
て、「晴耕雨読記念号と論文集」
を発行いたしました →→→



祝九州中央自動車道開通 (小池高山 IC ~ 山都中島西 IC)



この思いを
書で刻む
新時代の主役
は僕たちだ

12 月 16 日、御船小学校校体育館で標記区間の開通式典が執り行われた。地元の御船高校書道部の生徒等が大字を披露。式典のスピーチでは「命の道」という言葉が多用され、まさに風水害の防災の道でもあり、さらに観光資源としての役割も果たすことに期待したい。

日向往還 ~ 駄賃付の道 ~

九州の「へそ」と呼ばれる熊本県の馬見原、宮崎県の椎葉、高千穂一体は、標高 500m 以上の山間地で、古くから木材で地域産業を支えた地域。ここで木材や塩等を運ぶ人達が使う道のことを「駄賃づけのみち」と呼ばれた。椎葉村で採れる薪炭等を町へ運び、帰りに塩や鉄製品を運ぶのを生業とする人達をそう呼ぶ。この人達が生きた時代の駄賃付けの唄の一節を紹介すると。「ひとりこの山 寂しゅうて超すが 鳴いて聞かせよ ほととぎす ホーイホイ 登りや中 小屋 下れば家代 登りかけたぞ この道を ホーイホイ 肥後に行こうか 延岡に越そうか どちらを向いても 山ばかり ホーイホイ」 (第 16 回 諸塚駄賃つけ唄全国大会)

身近な環境への思い

Human Architectur

働き方改革への思い

3 K (キツイ、汚い、危険)と言われてきた労働環境を改善し、新 3 K (給与、休暇、希望)への変革として働き方改革、ICT を活用した省人化・省力化の実現等が注目されている。一方、農業分野でも東北地方の広大な米作では無人化農業機械の開発研究が放映されていた。高齢化と経験値農業から脱却しコンピューターのデータ管理により無駄のない経費管理と均一した最高品質の生産品が科学技術で収穫される具現化のストーリーである。特に、本質を伝える現場経験値プロフェッショナル技術者の伝承・育成も肝要と思われる。ただ、高額な機械(支払い)に使われる(働かされる)ことの無きよう健康に留意されたい。A/T



平成最後の流行

今年の流行語大賞は「そだね～」に決まり、平成最後の漢字は「災」となり平成も最後の時が刻々と迫っております。今日の日がまた歴史となり刻まれしていくことになります。



八代妙見祭

四季を彩るもみじ

日本は世界で紅葉が一番美しい国とされています。世界に約 160 種類の紅葉があると言われている。熊本では、新緑が美しい春は、3 月にもみじの芽立ち、4 月には小さな白い花を咲かせ、夏は青葉で秋は黄色や朱・真赤に紅葉した綺麗な姿を見せてくれます。もみじは四季を通じて、芽立ちから落葉まで色の移り変わりを楽しめる所と時の移ろいが感じられるところが一番気に入っています。現在、県内各地の色合いの良いもみじを見つけてはプロペラのような形をした種子を採取してポットで苗木を育てており、いつの日か、もみじによる実生の森を実現して、赤や黄色の色とりどりの織りなす模様が、まるで錦絵を見ているようなそんな光景が出来ればと夢見ています。I/B

乗り継ぎの楽しみ

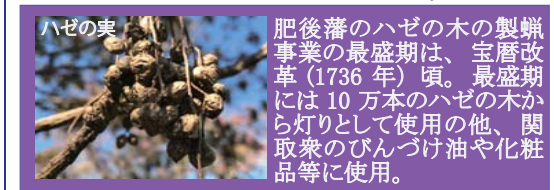
数年前に長崎から熊本(大津)へ来たときは、高速バスで交通センター～路面電車で熊本駅～JR でした。高速バス停武蔵ヶ丘と JR 武蔵塚の名前が似ていると思い、調べたらすぐ傍でした。そこで今は、武蔵ヶ丘で降りて JR。効率的に移動する方法を見つけるのは楽しいですね。これらはどういう訳か、剣の達人と学問の神様の仲介です。スケッチは達人のはうの薦紅葉。M/T



私たちの公共空間の有効活用



写真は小国町の職員等と一緒に橋梁点検の現地立会を行っている状況です。その後に木箱を発見。なんと地みつばちの箱でした !!V 字谷に渡河された橋長 200m の橋台の脊座部に地元の方が設置されたようです。この場所は雨風がしのげる絶好のタワーマンションかな。H/N



ハゼの実

肥後藩のハゼの木の製糺事業の最盛期は、宝暦改革(1736 年)頃。最盛期には 10 万本のハゼの木から灯りとして使用の他、関取衆のびんづけ油や化粧品等に使用。

身近な土木文化への思い

Civil Engineering

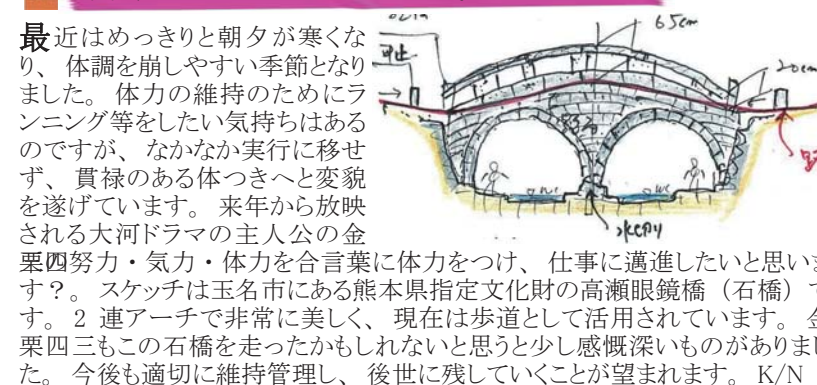
大井出排水橋に思う !!

甲佐町の緑川沿いの「鮎やな場」の前に大井出排水橋(梁の樋門)という単一アーチの石橋があります。大井出川の水量調節用に作られた樋門で 1817 (文化 14 年)から 1832 (天保 3 年)年頃の築造といわれています。緑川の右支川にあたるこのかんがい用水路は、加藤清正公の偉業で地域の農業基盤の礎となっています。この石橋は、築造後約 200 年が経過し、部分的補修はあるものの、熊本地震の影響を受けることなく全く健全。築造当時の技術力の高さを学ばせて貰った貴重な地域域資と思いました。N/M



写真正面は石橋。三重輪石に注目 !!

金栗四三もこの石橋を走ったかな？



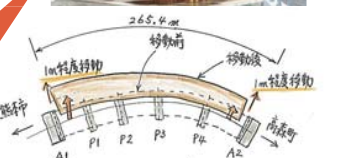
最近のはめっきりと朝夕が寒くなり、体調を崩しやすい季節となりました。体力の維持のためにランニング等をしたい気持ちはあるのですが、なかなか実行に移せず、貴族のある体つきへと変貌を遂げています。来年から放映される大河ドラマの主人公の金栗四努力・気力・体力を合言葉に体力をつけ、仕事に邁進したいと思いませんか？。スケッチは玉名市にある熊本県指定文化財の高瀬眼鏡橋(石橋)です。2 連アーチで非常に美しく、現在は歩道として活用されています。金栗四三もこの石橋を走ったかもしれないと思うと少し感慨深いものがありました。今後も適切に維持管理し、後世に残していくことが望まれます。K/N

老朽化溪流保全施設調査に関わって !!

近年、集中豪雨や台風、大規模な地震等の自然災害に対する防災事業や老朽インフラの施設長寿命化が行われております。このような中、私は県北の砂防設備点検(溪流保全工)と施設長寿命化計画に関わる維持管理事業に携わっております。調査範囲は、砂防指定地内の土石流危険溪流等が対象です。過去に築造された砂防設備の現状把握するために、新たに施設台帳整備を行い施設位置や変状、点検ルートや調査手順等を明確して、今後の維持管理や災害等の緊急時に活用できるように努めたいと考えます。T/M

熊本の鋼橋 (No. 14)

全長 265.4m の橋を特殊ジャッキ 50 台を同時に作動して元の位置に戻す工事が完了しました。大切畑大橋は、地震により橋全体が右記図のように、1m 程度移動しました。解体せずに、全体を移動するため高度な技術を使って安全に施工されました。N/S



大切畑には大きな堤があった。今から 50 年以上前、小学 1 年生の時、大津から大切畑まで自転車の三角乗りで魚すくいに行っていた記憶があります。H/N